

科目名	保健体育	英語科目名	Physical Education
開講年度・学期	平成 28 年度・前期	対象学科・専攻・学年	3 年 全学科
授業形態	実技	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	三原 大介	居室 (もしくは所属)	講義棟 2 階研究室
電話	0285-20-2184	E-mail	mihara@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. ソフトテニスの正しいラケットの持ち方、フォアハンド、バックハンドストローク、サービスが出来る。 2. ルール・審判法を身につけ、正しい動きが出来る。 3. 卓球のラケットの正しい持ち方、サービスとレシーブが出来る。 4. ルール・審判法を理解し、ダブルス・シングルスゲームが出来る。 5. 水泳の各泳法で 25m を泳ぐことが出来る。			
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法 1~4 について、実技試験よって 5 段階評価する。 5. クロール・平泳ぎ・背泳ぎの 3 泳法を各 25m 以上泳ぐことができる。			
評価方法 サービス・ストローク・スマッシュ・フットワークなどの実技テストを行い、対戦成績を勘案し 5 段階評価する。 水泳のクロール・平泳ぎ・背泳ぎの 3 泳法について 5 段階評価する。 *授業態度、基本的技術、チーム成績を総合的に勘案し、A、B、C、D、E の 5 段階で評価する。 *基本的に出席を重視し、欠課数が 1/3 を超える者は評価の対象にしない。			
授業内容			
ソフトテニス 1. 用具、服装、授業内容、評価等についての説明、準備体操、ラケットの持ち方、フォアハンドストローク、整備体操 2. 準備体操、フォアハンドグラウンドストローク、バックハンドグラウンドストローク、整備体操 3. 準備体操、基本ストローク (フォアハンド、バックハンドグラウンドストローク)、サービス、整備体操 4. 準備体操、コントロール技術、サービスとレシーブ、整備体操 5. 準備体操、フットワーク、サービスとレシーブ、基本ストローク、整備体操 6. 準備体操、ルール、審判の仕方説明、簡易ダブルスゲーム、整備体操 7. 準備体操、スピードアップの技術、簡易ダブルスゲーム、整備体操 8. 新体力テスト 卓球 9. 準備体操、ラケットの持ち方、基本ストローク (フォアハンド、バックハンド)、ラリー練習、整備体操 10. 準備体操、技術に応じて 4 つのグループに分ける。フットワーク、サービスとレシーブ、ラリー練習、整備体操 11. 準備体操、回転ボールへの対応 (ツツキ、ドライブ)、サービスとレシーブ、ラリー練習、整備体操 12. 準備体操、素振り、フットワーク、スマッシュ、ラリー練習、整備体操 13. 準備体操、ルール、審判の仕方説明、グループ別ダブルスゲーム、整備体操 14. 準備体操、基本技術の確認、グループ別シングルゲーム、整備体操 15. 準備体操、注意事項、水泳 (クロール・平泳ぎ・背泳ぎ)、整備体操			
*雨天など天候不順の場合は、室内競技または体育講義を実施する。			
キーワード	ソフトテニス、卓球、水泳、コミュニケーション		
教科書	特になし		
参考書	特になし		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	保健体育		
現学年の関連科目	保健体育		
次年度以降の関連科目	保健体育		
連絡事項			
学校指定の体操着、体育館シューズを着用すること。それ以外は認めない。用具は学校で用意する。自分のグローブを持参しても良い。体育着忘れは減点かつ実技参加は認めない。遅刻は減点、遅刻 3 回は、授業 1 回の欠席にする。夏期水泳の時には水着、水泳帽、バスタオル、ゴーグルなどを用意すること。各クラスの週番は、必ず授業前の用具の準備、連絡事項の伝達を行うこと。			
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 18 日		